

会津地鶏のデピークを省略すると生産性が低下する

福島県農業総合センター 畜産研究所養鶏分場

1 部門名

畜産 - 鶏 - 畜産哺育・育成 - 畜産経営

2 担当者

根本 光輔

3 要旨

会津地鶏の生産農家ではデピーク作業を省略して飼うことがある。このため、悪癖等が発生して生産性を低下させている。そこで、会津地鶏の雄でデピークを省略した場合の発育や損耗率等への影響について調査した。

- (1) デピーク実施の有無とデピークを省略して飼養密度を変えて、出荷適期の17週齢まで調査した。
- (2) 悪癖はデピークを省略した全ての区で発生し、一時はほぼ全羽に脱毛が見られた。
- (3) 出荷時の脱毛鶏の発生率は、飼養密度が高くなるほど高くなつた。
- (4) デピークを実施した場合と省略した場合の発育は同等であった。
- (5) 飼料要求率は、デピークを省略した区が高く、1羽あたりの飼料費で約71円多いことが判明した。

表1 区の構成

区	デピークの有無	m ² 羽数
1	あり	7 羽
2	なし	7 羽
3	なし	5 羽
4	なし	3 羽

表2 脱毛およびつつき傷発生率(17週齢時)

区	飼養羽数	脱毛発生羽数 (発生率%)	つつき傷発生 羽数(発生率%)
1	41	0	0
2	41	25 (61.8)	5 (12.2)
3	29	14 (48.3)	2 (6.9)
4	18	8 (44.4)	1 (5.6)

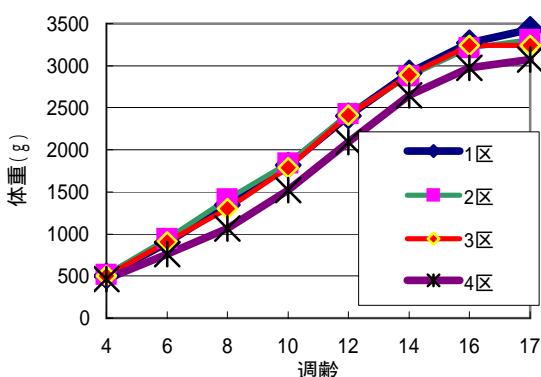


図1 体重の推移

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成18年度試験成績概要(2006)
- (2) 福島県養鶏試験場研究報告18号～20号
- (3) 奈良県畜産試験場研究報告12号

表3 飼料要求率、1羽あたり飼料費(羽)

区	プロ前期 (g)	プロ仕上げ (kg)	飼養要求率	飼料費 (円)
1	808	9.81	3.12	601.5
2		10.85	3.49	672.8
3	710	10.39	3.43	
4		10.11	3.52	